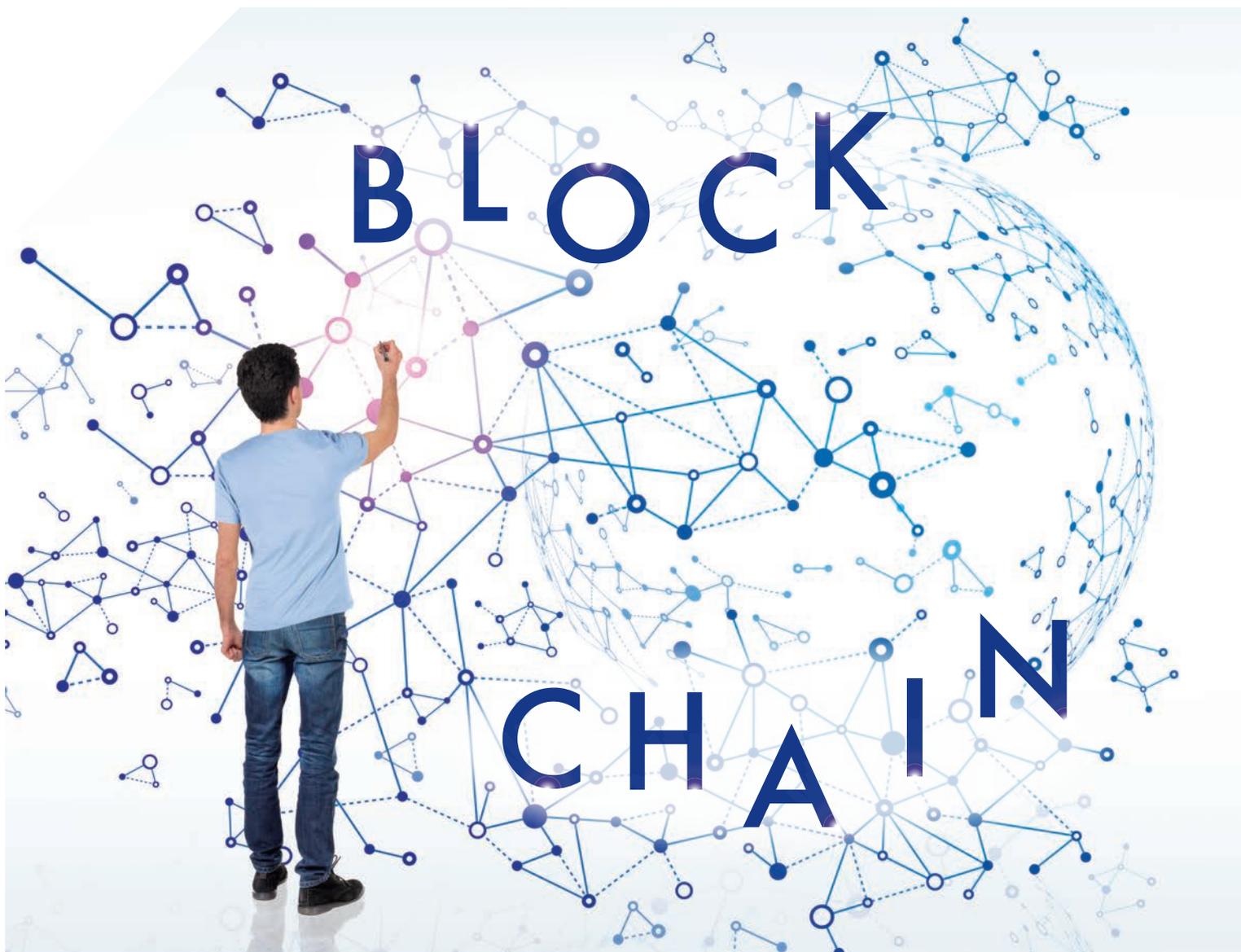




インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)
 愛称：世カエル 世界を変える技術
 追加型投信/内外/株式/インデックス型



インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド
 モーニングスター アワード ファンド オブ ザ イヤー 2020
 国際株式型(グローバル)部門
優秀ファンド賞 受賞

※当アワードについては巻末の<Morningstar Award “Fund of the Year 2020”について>をご覧ください。
 ※インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)は対象外です。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは

f **フィデリティ証券**

商号等 フィデリティ証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号
 加入協会 日本証券業協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は

インバスコ・アセット・マネジメント

商号等 インバスコ・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第306号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

世界を変える様々なデジタル革命が加速しています



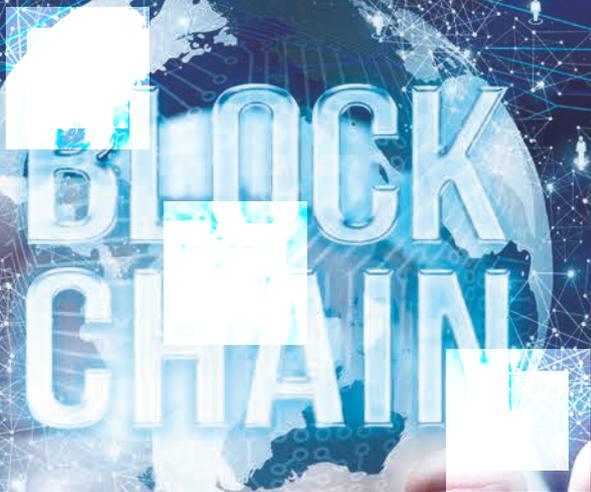
デジタル革命は
実社会・生活に
多くの恩恵を
もたらしています



財産 健康 安全に
直接関わる
技術・サービスが
現れたことで
情報の安全・信頼の
重要性が増しています

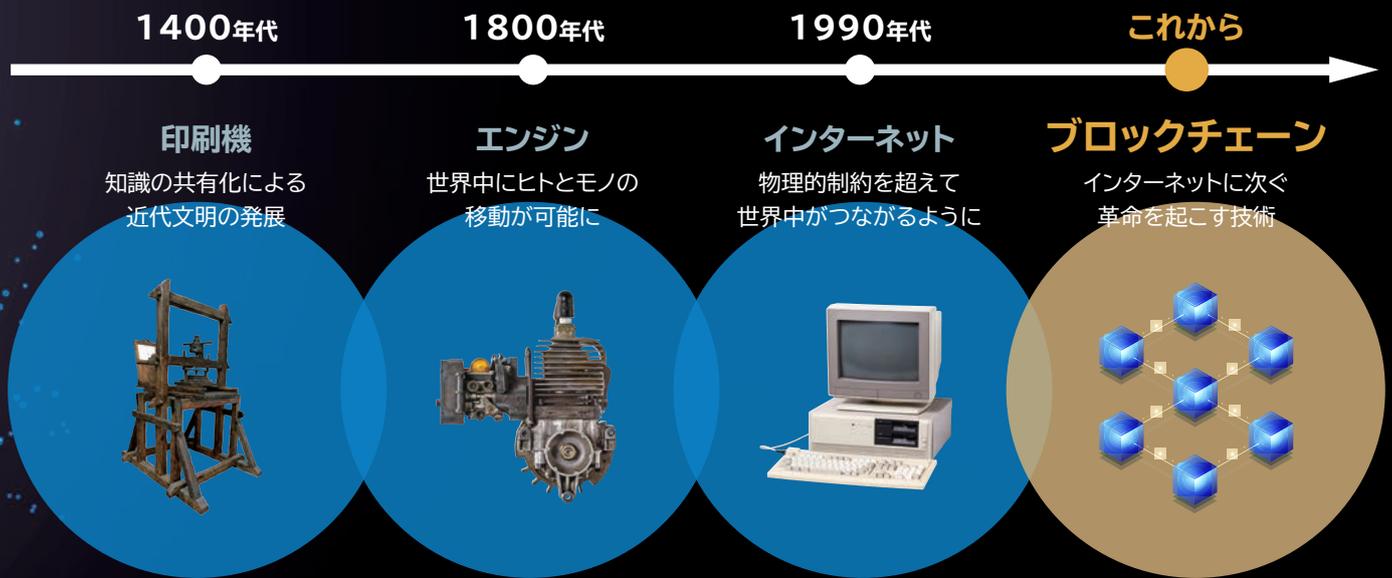


デジタル革命の基幹技術として
情報の安全や信頼を支え
世界を変える技術と言われるのが
ブロックチェーンです



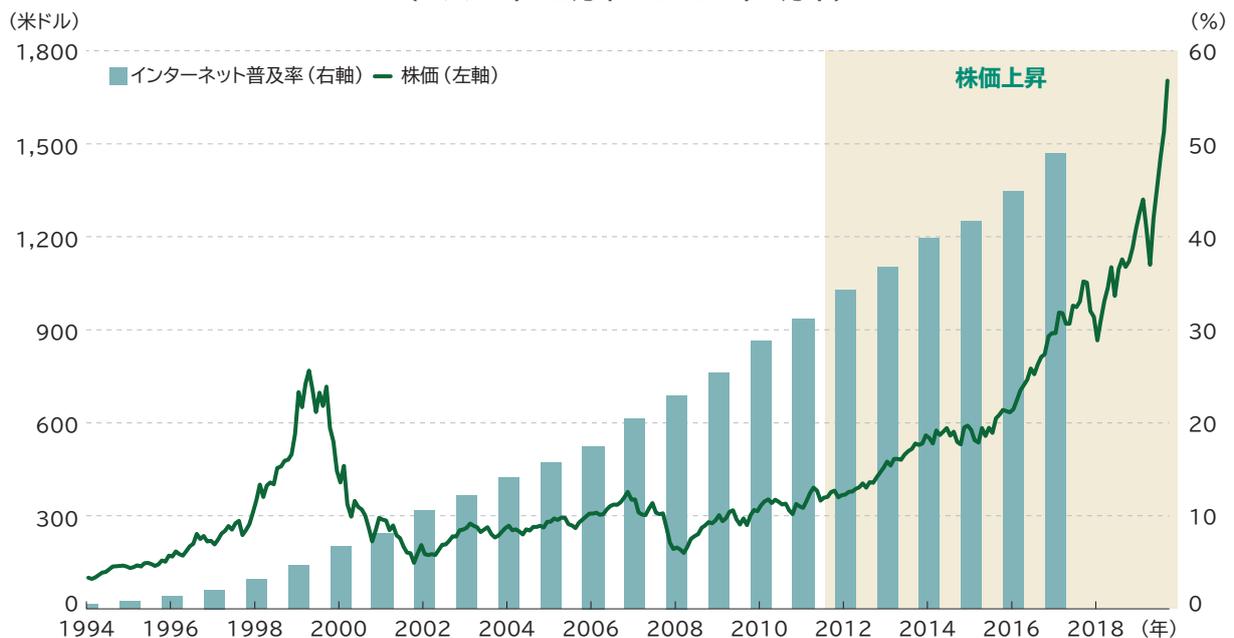
ブロックチェーンは インターネットに次ぐ技術革新として 期待されています。

世界を変えてきた技術革新



インターネットの普及とともにIT関連株価も上昇

(参考) 世界のインターネット普及率と世界株IT指数の株価の推移
(1994年12月末～2020年8月末)



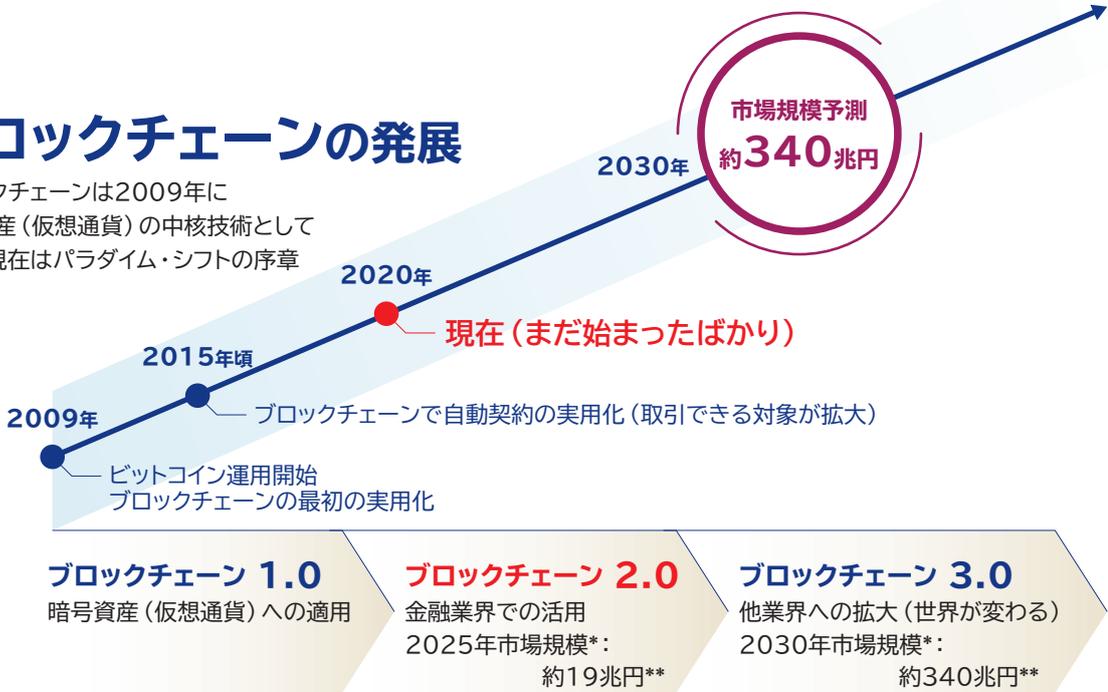
出所: ブルームバーグ、世界銀行 世界株IT指数はMSCI World IT Index (配当込み、米ドルベース)
 ※インターネット普及率は最新のデータである2017年まで掲載
 ※過去のデータであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ブロックチェーンによる 変化は始まったばかりであると 考えられています。



ブロックチェーンの発展

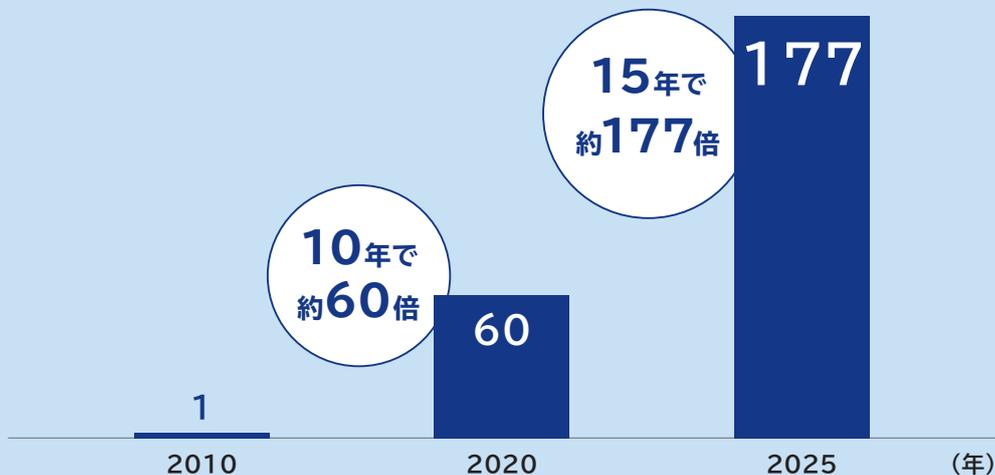
ブロックチェーンは2009年に
暗号資産（仮想通貨）の中核技術として
登場、現在はパラダイム・シフトの序章



*出所：市場規模：Gartner『Forecast: Blockchain Business Value, Worldwide, 2017-2030』（2017年3月）
**市場規模は2025年の1,760億米ドル、2030年の3.1兆米ドルを109.715円／米ドルで換算、WMロイターのレートに基づく。
作成時点での潜在的な市場規模の予測であり、将来を保証するものではありません。

増大するデータ量に伴って これまで以上に情報の安全や信頼が重要に

世界のデジタルデータ量の推移予測



※総務省、IDCからインバスコ作成、2000年のデジタルデータ量を1として指数化

デジタル革命の基幹技術である ブロックチェーンの特徴

ブロックチェーンの主な特徴

- ブロック（暗号化されたデータ）をチェーンのように順番に連結し、データを保管する技術です。
- データの改ざんが難しく、全データの履歴も追跡可能なので、安全性・信頼性が高いと言われています。
- 2009年にビットコインで実用化され、インターネット上での価値や資産の取引が可能になりました。
- デジタル革命により必要とされ、インターネット上で価値や資産を取引したり、データの安全性を高めることができるため、社会や生活を大きく変えていくインパクトがあると期待されています。



ブロックチェーンのメリット

	1 改ざんが難しい 信頼性	2 安定性が高い 安定性	3 低コスト運用 低コスト
ブロックチェーン	<p>ブロックチェーンは改ざんが極めて難しい</p>	<p>データが共有されどこかが停止しても他が動き続ける</p>	<p>高い信頼性と安定性のシステムを低コストで構築可能</p>
これまで	<p>データの書き換えが容易</p>	<p>中央のシステムに不具合があるとシステム全体が停止</p>	<p>中央のシステムが全て負担するため、規模に限界がある</p>

※上記はイメージであり、実際とは異なる場合もあります。

ブロックチェーンで
何が変わるのか？

BLOCKCHAIN

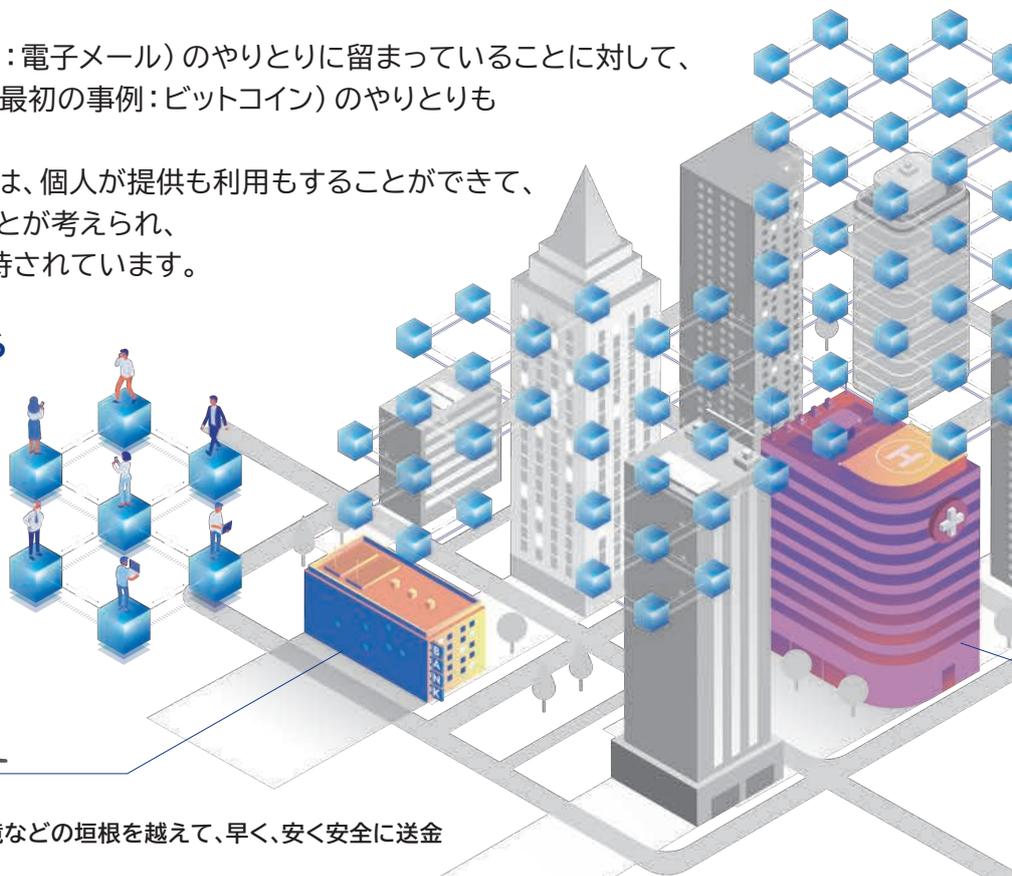
ブロックチェーンで インターネットだけではできなかった ことの実現が期待されています。

インターネットが『情報』（最初の事例：電子メール）のやりとりに留まっていることに対して、ブロックチェーンでは『価値・資産』（最初の事例：ビットコイン）のやりとりもできるようになります。

ブロックチェーンを活用したサービスは、個人が提供も利用もすることができて、社会インフラのように広がっていくことが考えられ、生活がより便利なものになると期待されています。

ブロックチェーンによる 未来の世界

世界中どこでも個人が
サービスを提供・利用

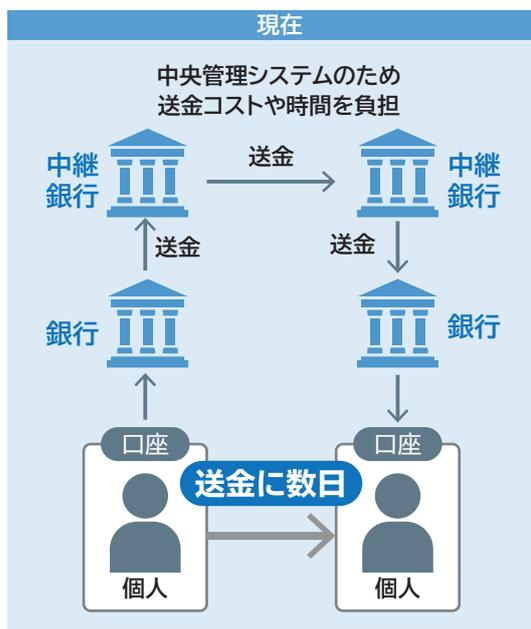


ブロックチェーンの事例 1

振込

銀行や国境などの垣根を越えて、早く、安く安全に送金

中央管理システムが不要になり、安全・手軽かつ便利に、
個人間での価値・資産のやりとりが可能に



ブロックチェーンの事例 2

物流

ブロックチェーンで模倣品を排除する仕組み

ダイヤモンドのニセモノ防止、医薬品の偽造防止、食の安全管理など物流全般の幅広い活用が期待

現在

各過程でデータ・情報が分断されているため、物流過程で不正があっても発見が不可能

ブロックチェーン活用

ブロックチェーンで製品情報の履歴が記録されるため、改ざんは困難・追跡可能で不正を排除

ブロックチェーンによる物流管理システム



ブロックチェーンの事例 3

医療・保険

医療・保険情報をブロックチェーンで共有

医療機関・保険会社等が連携して、より良い医療サービスやまだ存在しないサービスの登場に期待

現在

各機関で医療・保険情報が分断
診察や保険の手続きが煩雑



ブロックチェーン活用

医療情報が集約され手続きが簡素化
正確な医療記録で適切な診察
正確な情報共有で迅速な保険金支払い



世カエルのコンセプトを ご紹介します

ファンドの
Point1

ブロックチェーンの 拡大に着目

インターネットに次ぐ技術革新として注目されるブロックチェーン。その活用が進むことで、これまでの世界を変えるような新しいサービス・仕組みの出現が期待されています。

ファンドの
Point2

ブロックチェーン・ ビジネス関連企業の 株式に投資

日本を含む世界各国の上場株式の中で、ブロックチェーンを活用して新たなサービス・仕組みを作り出している、もしくは作り出すと期待される企業に投資を行います。

ファンドの
Point3

ブロックチェーン投資の 革新的なインデックス

投資成果の連動を目指すエルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、デジタル・アセットに特化した投資会社であるエルウッド社が独自の分析に基づいて選定したブロックチェーン関連銘柄で構成されるインデックスで、ブロックチェーンの拡大を捉える投資機会という点で、従来の時価総額型インデックスとは異なる革新的なインデックスです。

エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスについて

エルウッド社が独自の分析に基づいて選定したブロックチェーン関連銘柄で構成されるインデックス

インデックス・アドバイザー(開発):エルウッド社

- エルウッド社(エルウッド・アセット・マネジメント)はデジタル・アセットに特化した投資会社
- 金融市場での豊富な経験とブロックチェーン技術の深い知見の融合により、世界の投資家に画期的な運用戦略を提供
- 2019年3月にインバスコと共に革新的な投資商品としてインバスコ・エルウッド・グローバル・ブロックチェーンUCITS ETF(上場投信)を設定



インデックス・プロバイダー(算出・公表):ソラクティブ社

- ソラクティブAGはドイツを拠点とするインデックス・プロバイダーでグローバルで事業を展開
- インデックス連動型の金融商品のため、柔軟かつ効率的なソリューションを開発

エルウッドが着目するブロックチェーン産業

- ブロックチェーンビジネスを独自に8つの産業に分類して、成長性を調査
- 今後の成長見通しがポジティブな産業の組み入れを重視



エルウッド社のブロックチェーン産業分類と収益化の時間軸イメージ



出所:エルウッド社の資料に基づいてインバスコが作成
 ※上記の産業分類と収益化の時間軸イメージについては資料作成段階のものであり、予告なく変更されることがあります。
 ※上記個別銘柄は、例示を目的とするものであり、当該銘柄を推奨・勧誘するものではありません。
 ※インデックス構成比率は2020年10月末時点

ブロックチェーンを活用した新しいビジネス 生み出す銘柄に注目しています

スクエア

ブロックチェーン技術を使った決済サービスを開発・運営
ブロックチェーン決済システム企業



国名 | アメリカ

業種 | 情報技術

時価総額 | 約10.1兆円

モバイル決済ソリューションを提供する米国の企業。暗号資産の取引・送金アプリ「Cash App」を活用したビットコイン決済サービスを提供。欧州へも事業を拡大し、ビットコイン決済に関する売り上げは順調に拡大している。当事業の更なる成長に期待。

GMOインターネット

暗号資産取引所やマイニング事業を手掛ける
日本のマイニング・オペレーション企業



国名 | 日本

業種 | 情報技術

時価総額 | 約3,353億円

グループ会社のGMOコインで取引所などの暗号資産事業を手掛ける。その他にもドメイン（.OO.comなど）登録、SSL認証（電子証明書）、ホスティング（レンタルサーバー）で日本のマーケットリーダー的存在。ブロックチェーン分野においてもリーダー的地位を確立すると判断。

出所：ブルームバーグ。設定日前日の2019年7月10日を100として指数化し、2020年12月31日まで。株価は円建てインバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）は2021年3月11日から運用を開始する予定のため、基準価額上記は過去のデータであり、将来の運用成績をお約束するものではありません。上記の企業は

スやサービスを

台湾積体電路製造



暗号資産マイニング用の各種部品を製造する
マイニング・ハードウェア企業



国名 | 台湾

業種 | 情報技術

時価総額 | 約50.5兆円

世界有数の半導体ファウンドリ（生産工場）。暗号資産のマイニング向け集積回路メーカーにとって重要なサプライヤー。韓国、中国、米国などの競合他社と比較し、相対的に高い成長率と利益率を誇る点を評価。

カカオ



暗号資産取引所を運営する
ブロックチェーン金融サービス企業



国名 | 韓国

業種 | コミュニケーション・サービス

時価総額 | 約3.3兆円

インターネットのポータルサイトを運営し、メッセージ・アプリのカカオ・トークは韓国最大級。韓国でポピュラーな暗号資産取引所「UpBit」を所有・運営。取引量の多さや、積極的な暗号資産の決済やトークンの開発を評価。その良好なブロックチェーン事業から今後の成長に期待。

換算しています。※1 基準価額はインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの課税前分配金再投資ベースです。は表示できません。上記は、マザーファンドが投資する上場投資信託証券の組み入れ銘柄（2020年12月末時点）の紹介です。例示を目的として示したものであり、当該企業に対する投資を推薦、勧誘する意図はありません。

基準価額の推移※1

インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドと世界株式の比較
(2019年7月10日～2020年12月30日、日次)



※基準価額(インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド)は信託報酬控除後のものです。世界株式は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考として掲載しました。

世界株式: MSCIワールド (トータルリターン、円ベース)

※期間: 設定日前日の2019年7月10日を10,000として指数化し、2020年12月30日まで

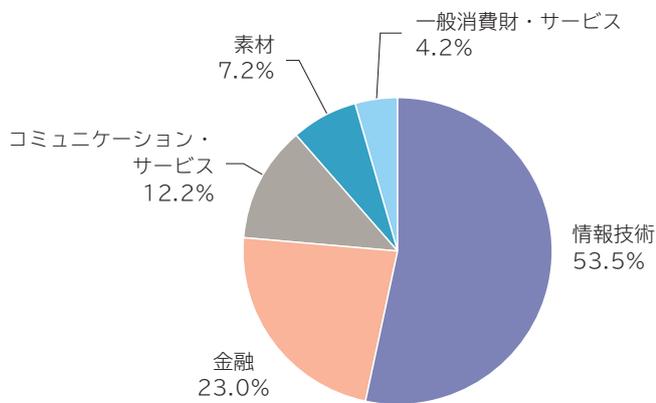
※上記は過去のデータであり、将来の運用成績をお約束するものではありません。

※1 インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)は2021年3月11日から運用を開始する予定のため、基準価額は表示できません。

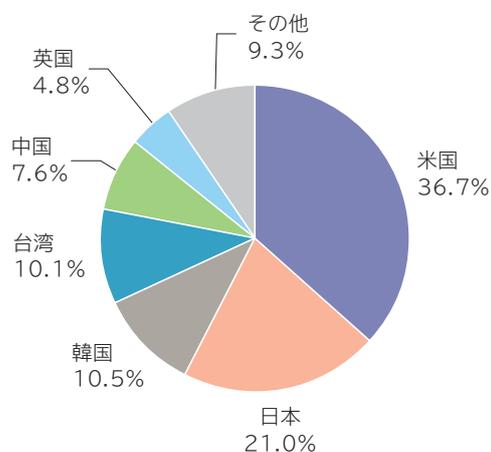
インデックスの構成銘柄(2020年12月末時点)

エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス

〈業種別構成比〉



〈国別構成比〉



構成比率上位10銘柄

順位	銘柄	業種	国	比率
1	マイクロストラテジー	情報技術	米国	6.2%
2	カナン	情報技術	中国	6.1%
3	シルバーゲート・キャピタル	金融	米国	4.7%
4	台湾積体回路製造	情報技術	台湾	4.6%
5	創意電子	情報技術	台湾	3.8%
6	マネックスグループ	金融	日本	3.8%
7	カカオ	コミュニケーション・サービス	韓国	3.5%
8	CMEグループ	金融	米国	3.3%
9	GMOインターネット	情報技術	日本	3.2%
10	ハイブ・ブロックチェーン・テクノロジーズ	情報技術	カナダ	3.0%

出所: ブルームバーグ

エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスの構成銘柄および構成比率であり、実際のポートフォリオとは異なります。上記は投資対象銘柄の例示を目的として示したものであり、当該銘柄に対する投資を推薦、勧誘するものではありません。

インベスコについて

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、米国アトランタを本拠地とする独立系運用会社インベスコ・リミテッドのグループの一員です。インベスコ・リミテッドは、ニューヨーク証券取引所に上場しており、米国の株式市場の代表的な指数であるS&P500種株価指数の採用銘柄にもなっています。世界25カ国以上の拠点で資産運用サービスを展開し、運用資産は約1.2兆米ドル(約130兆円超)を誇ります。



世界最大級の
独立系運用会社



安定した
経営基盤



インベスコ グローバル本社

出所：インベスコ、2020年9月末時点
為替レートは105.53円/米ドルで換算、WMロイターのレートに基づく。

世カエル特設サイトやSNSでも情報をお届けしています

世カエル
特設サイト



世カエルの特設サイトでは、ブロックチェーンに関連した特別レポートを随時公開しています。
また、ブロックチェーンの技術等をわかりやすく解説する動画なども公開しています。



インベスコ
LINE



LINEで弊社アカウントを友達に追加頂くと、最新マーケット・ビューやその他のファンドに関する様々な情報をお届け致します。



オウンド
メディア



「投資で人生をより豊かに」と考える人々のために、次の投資のヒントを得るWebマガジン『Wealth Road』で様々な情報を発信しています。



ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式を実質的な主要投資対象※とし、エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

※「実質的な主要投資対象」とは、ファンドがマザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象をいいます。

ファンドの特色

- 1.主として、マザーファンド※¹受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式に投資を行います。
効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。
- 2.エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)※²の動きに連動する投資成果※³を目指します。
- 3.実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。
- 4.インバスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシー(米国、ダウナーズグループ)に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

◆分配方針

- 各ファンドの決算日(同日が休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
 - ・インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの決算日:毎年7月10日
 - ・インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)の決算日:毎月10日
- 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。
- ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。
※予想分配金提示型の分配方針の詳細については下部の「予想分配金提示型の分配方針」を参照ください。

※¹ ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インバスコ 世界ブロックチェーン株式 マザーファンド」です。

※² ◆ ファンドは、エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)をベンチマークとします。

◆ エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(円換算ベース)とは、基準日前営業日のエルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(米ドルベース)の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)で独自に円換算したものです。

◆ エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、エルウッド・アセット・マネジメントが独自の分析に基づき選定した銘柄で構成され、ソラクティブ AG(ソラクティブ社)によって算出、公表されています。

◆ ソラクティブ社は、エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス(当指数)、およびその登録商標、当指数データの利用結果に関して、何時、いかなる点においても明示的、黙示的な保証または確約を行いません。ソラクティブ社は当指数を正確に算出するために最善を尽くしますが、指数提供者としての義務にかかわらず、投資家および金融商品の仲介者を含む第三者に対して、当指数の誤りを指摘する義務を負いません。ソラクティブ社による当指数の公表および金融商品に関連した目的での当指数または当指数の商標利用の使用許諾は、ファンドへの投資を推奨するものではなく、また、ファンドへの投資に関してソラクティブ社の保証または意見を表明するものではありません。

※³ ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行います。基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。

予想分配金提示型の分配方針

- ・ 予想分配金提示型の場合、分配対象額の範囲※¹内で、決算日の前営業日の基準価額※²に応じて、以下の金額の分配を目指します。

※¹ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含む配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

※² 基準価額は1万口当たりとし、支払済の分配金累計額は加算しません。

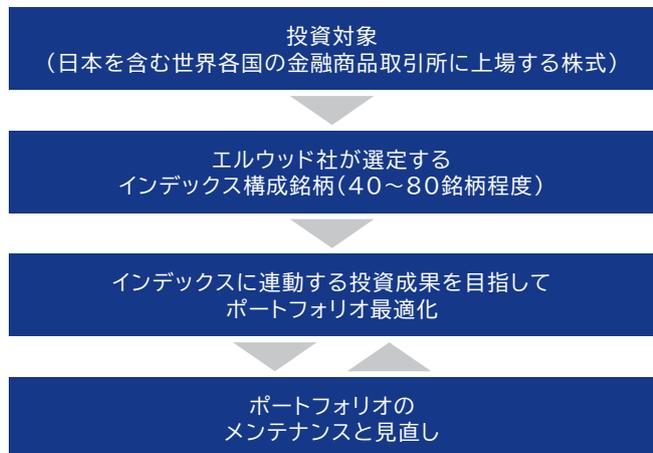
決算日の前営業日の基準価額 (1万口当たり)	分配金額 (1万口当たり、課税前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・ 基準価額に応じて、分配金額は変動します。
- ・ 基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を継続する、というものではありません。
- ・ 分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・ 決算日の前営業日から決算日までの間に基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市況動向等によっては委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配が行われない場合があります。

*上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの運用プロセス

ファンドの主な投資対象であるマザーファンドの運用を担当するインバスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシーの運用プロセスは以下の通りです。



エルウッド・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス

日本を含む世界各国の上場株式の中で、ブロックチェーンを活用して新たなサービス・仕組みを作り出している、もしくは作り出すと期待される企業で構成

<エルウッド社のインデックス構成プロセス>

1. ブロックチェーンに関連する分野として、ブロックチェーン技術を用いた決済システムやサービス等のブロックチェーン・ビジネスを特定
2. 財務分析や経営陣との面談等のリサーチを通じて、ブロックチェーン・ビジネスが企業価値に占める割合、ブロックチェーン領域における占有率等に基づき、個別銘柄を重要度に応じて5段階でスコアリング
3. リサーチによるスコアに基づき、株式の流動性(出来高)を考慮し、構成銘柄および構成比率を決定

*ファンドの運用プロセス等は、ファンドの設定日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

*効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。

資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき、およびこれらに準ずる事態が生じたとき、あるいは投資信託財産の規模が上記の運用を行うに適さないものとなったときは、上記の運用ができない場合があります。

当初設定日直後、大量の追加設定または解約が発生したとき、償還の準備に入ったときなどが含まれます。



(ご参考) 基準価額、分配金等の 推移シミュレーション

(2019年7月11日～2020年12月30日)

インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドにおいて、予想分配金提示型の分配方針に基づいて分配金が支払われたと仮定した場合における、分配金、基準価額等の推移シミュレーションは以下の通りです。



分配金(1万口当たり、課税前)の試算

	分配金
2019年8月13日～2020年7月10日累計	1,000円
2020年8月11日	500円
2020年9月10日	400円
2020年10月12日	400円
2020年11月10日	400円
2020年12月10日	500円
合計	3,200円

【シミュレーションの前提条件】

- ◆インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの基準価額を用いて算出しています。
- ◆決算日の前営業日の基準価額が10,000円未満の場合、分配金は支払われなかったと仮定して計算しています。
- ◆決算日の前営業日の基準価額が10,000円以上11,000円未満の場合、100円(1万口当たり、課税前)の分配金が支払われたと仮定して計算しています。
- ◆決算日の前営業日の基準価額が11,000円以上の場合、分配方針で表記されている各基準価額水準において目指す分配金額が支払われたと仮定して計算しています。
- ◆実際の分配可能原資などは考慮していません。
- ◆税金、手数料などは考慮していません。

上記はシミュレーションであり、当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果や分配金を示唆・保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

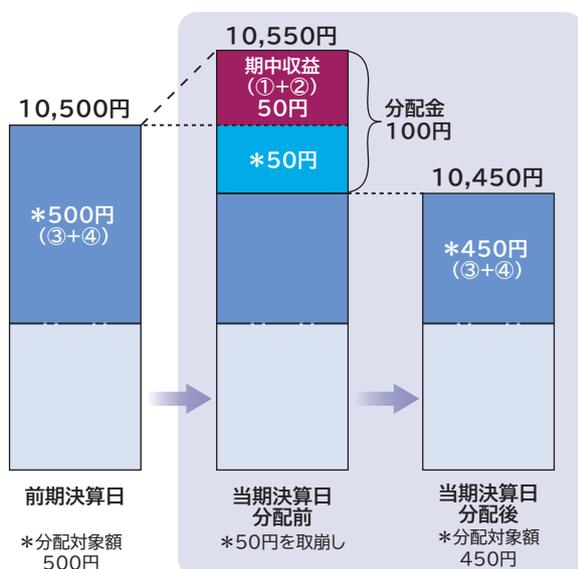
■分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



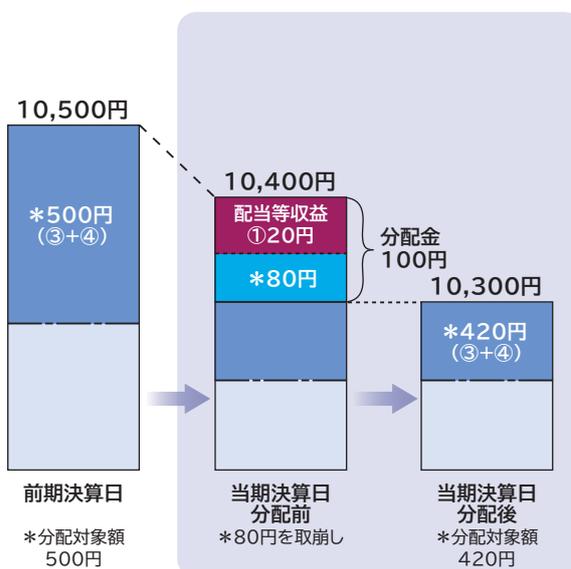
■分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■前期決算日から基準価額が上昇した場合



■前期決算日から基準価額が下落した場合

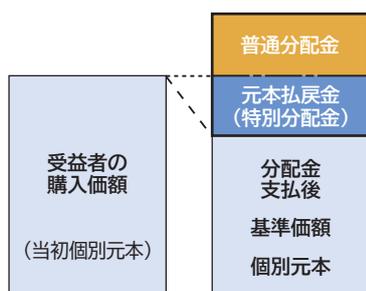


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

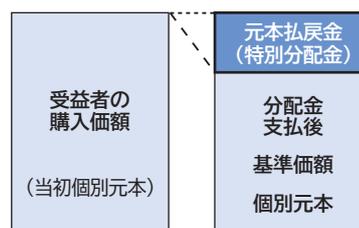
■受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

■分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額変動の要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク 〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。中小型株式は、一般的に業績の変化が大きく、株式市場全体の値動きよりも株価の変動が大きくなる傾向にあります。ファンドは、特定のテーマに絞って投資を行うため、ファンドが投資する企業の業種が偏在する場合があります。株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる可能性があります。また、より幅広い業種・テーマの株式に投資する場合と比べ、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。

信用リスク 発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。

ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。

カントリー・リスク 投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。新興国・地域への投資は、先進国への投資に比べ、「カントリー・リスク」「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」が高い傾向にあります。

為替変動リスク 為替の変動(円高)は、基準価額の下落要因です。

ファンドは為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

流動性リスク 流動性の低い有価証券等は、不利な条件での売買となる可能性があります。

市場規模が小さい、または取引量が少ない有価証券等については、市場実勢から期待される価格で売買できない場合や、希望する数量の一部またはすべての売買ができない可能性があります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

ベンチマークに関する留意点

■ファンドはベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、主として、ファンドとベンチマークの組入資産の銘柄、売買タイミング、時価評価および比率の差異並びに信託報酬、取引費用、為替等の要因があるため、ファンドとベンチマークの騰落率は完全に一致するものではなく、乖離する場合があります。ベンチマークの算出・取得ができない事態が生じた場合、委託会社はベンチマークの変更や廃止を含む運用方針の見直しを行うことまたはファンドを償還することがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等により市場の流動性が低下した場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことがあります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入の有価証券等の売買が行われた場合などには、組入の有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30%(税抜3.00%)以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.573%(税抜1.43%)以内 の率を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。 なおインバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	●組入の有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ●監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して 年率0.11%(税抜0.10%)を上限 として、インバスコ世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。

お客さまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
詳しくは、[投資信託説明書\(交付目論見書\)](#)をご覧ください。

■お申込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 *分配金の受け取り方法により、「分配金再投資コース」と「分配金受取りコース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額 ※インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)については、2021年3月10日までの当初申込期間中は1口当たり1円
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する日には、購入・換金のお申し込みの受け付けを行いません。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 2019年7月11日から2029年7月10日まで(設定日:2019年7月11日)</p> <p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型) 2021年3月11日から2029年7月10日まで(設定日:2021年3月11日)</p>
繰上償還	<p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。</p> <p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型) 信託設定日より1年を経過した日以降において、信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。</p>
決算日	<p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 毎年7月10日(ただし、同日が休業日の場合は翌営業日)</p> <p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型) 毎月10日(ただし、同日が休業日の場合は翌営業日) ※第1期決算日は2021年4月12日です。</p>
収益分配	<p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。</p> <p>■インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型) 毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※委託会社の判断により分配を行わないことがあります。収益分配の詳細は「ファンドの目的・特色」と「予想分配金提示型の分配方針」の項目をご参照ください。 ※「分配金再投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除は適用されません。
スイッチング	「インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」と「インバスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)」との間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合やファンド間でスイッチングが行えない場合があります。 また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

※各ファンドについて個別に記載がない箇所については両ファンドの共通記載事項です。

※販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。

■委託会社、その他の関係法人

委託会社(設定・運用など)	インバスコ・アセット・マネジメント株式会社
受託会社(投資信託財産の管理など)	三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:株式会社日本カストディ銀行)
販売会社(受益権の募集・販売の取り扱いなど)	販売会社については下記ファンドに関する照会先にお問い合わせください。

<ファンドに関する照会先>ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインバスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせダイヤル 電話番号:03-6447-3100【受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで】 ホームページ:<http://www.invesco.co.jp/>

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

<当資料お取り扱いのご注意>

当資料はインバスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入しておりません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券など(外貨建資産には、為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

<Morningstar Award “Fund of the Year 2020”について>

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル)部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。